

企業概要



株式会社 浪板観光ホテルリゾート

代表取締役社長 千代川 茂

(所在地：岩手県大槌町)



当社について

当ホテルは、浪板海岸を眼下に望む岩手県大槌町に位置しております。

平成9年10月に全国豊かな海づくり大会ご出席の折に上皇陛下上皇后陛下が当ホテル(旧浪板観光ホテル)にご宿泊なさいました。その時、近くの岸壁に咲く可憐な白い花「ハマギク」をご鑑賞なされました。ハマギクは陛下が好まれる花でもあったことから、後日、当時の社長・山崎龍太郎がハマギクの苗を皇居に贈り、お育てになったものが御車寄せに植えられました。

それから14年後、平成23年3月11日、東日本大震災が発生し甚大な被害を受け全壊となり、営業停止を余儀なくされました。半年後の10月20日、上皇后様喜寿のお誕生日に全国放送された映像にはハマギクの花が真っ白に咲いていました。そのお姿を見て、ハマギクの花言葉「逆境に立ち向かう」との励ましのメッセージを賜ったと受け取り、ホテルの復興再建を決意し、2年後の平成25年、名称を「浪板観光ホテル」から「三陸ホテル はまぎく」に改名しホテルを再開いたしました。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	エネルギー使用量の削減、脱プラスチック、フードロスの削減
従業員の働きがい	従業員の体の健康保持、休暇の取得奨励、女性活躍の推進
地域社会への貢献	地域金融機関との連携、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、消費者・顧客課題解決、業務効率化や生産性の向上

株式会社 浪板観光ホテルリゾート SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2023年3月28日
株式会社 浪板観光ホテルリゾート
代表取締役社長 千代川 茂

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

環境保護に配慮した事業活動に取り組むとともに、環境経営に関する社内浸透を進めます。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 2030年度のGHG排出量を2020年度比で10%削減する
- ・ アメニティのプラスチック製品を削減する
- ・ フードロス削減出来るようなメニューの考案



従業員の働きがい

ワークライフバランスの実現により、働きやすい職場環境づくりを意識した経営を目指します。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 健康診断の実施
- ・ 計画的な休暇取得奨励
- ・ 女性従業員向けセミナーの実施



地域社会への貢献

地域社会への貢献宣言。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ 地域金融と連携したSDGs貢献
- ・ スポーツ活動支援
- ・ 地元食材を取り入れた献立づくり



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を構築する。

▼ 目標・取り組み内容

- ・ コンプライアンス研修の実施
- ・ 顧客課題解決策の社内アイデア募集
- ・ 事業継続力強化計画の策定



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ 「SDGs経営推進プロジェクト」】